

問題 000 企業会計

財務会計や管理会計に関する A～D の記述のうち、妥当なもののみをすべて挙げて
いるものはどれですか。

A 財務会計は、株主などの投資家、銀行などの債権者、仕入先、得意先などの取引先、
税務当局といった企業外部の利害関係者に対して、企業の経済活動および経済事象を財
務諸表などの財務情報を用いて報告することを目的とする会計です。

B 財務会計は、会社法、金融商品取引法などの強制規範や企業会計原則などの慣習規
範によって規制されています。

C 管理会計とは、経営の意思決定や業績評価のために役立つ内部財務情報を企業外部
の利害関係者に開示することを目的とする会計です。

D 財務会計および管理会計の有効性は、監査により担保されているといえます。商法
監査とは、会計監査人により行われる外部監査のみをいいます。

1. D 2. A, B 3. A, D 4. B, C

(国税専門官試験 改題)

問題 000 の解答と解説

A. 妥当。財務会計は、財務諸表を通じて投資家や債権者など外部の利害関係者に
会計情報を伝えることを目的とし、「複式簿記」という手法によって企業の経営成
績や財政状態を明らかにさせます。

B. 妥当。財務会計には、法律制度の一環として法的制約を受ける枠組みの中で行
われる制度会計があり、その前提となる考え方は、会計実務の中から一般に公正妥
当と認められるところを要約した企業会計原則であって、それ自体は法律ではなく
実務の中から慣習として発達してきたものです。

C. 妥当ではない。管理会計は、内部報告会計であり、株主や債権者という外部の
利害関係者に対するものではなく、会社の内部における経営管理者に対して管理や
設備計画、意思決定などに役立つような情報提供を目的にしています。

D. 妥当ではない。商法監査は会計監査人による外部監査、監査役による監査から
なります。

以上より、妥当な枝は A、B となり 2 が正解です。